もっと! JAひろしま

Motto! JA Hiroshima

11

2026 | No.044



みんなのフォトギャラリー

そこにあるのは美味しい未来☆

特集 | もしもの時も、任せて安心!

相続、葬祭のご相談はＪＡまで

JAひろしま

はぐくもう、真心をこめて あなたとの未来

もしもの時も、任せて安心!

相続、葬祭のご相談はJAまで



大切な家族の、もしものとき。あるいは、自分に万が一のことがあったとき。一連の難しい手続きを安心して任せられるプロがいれば、心強いですよね。JAは、総合事業の強みを生かし、相続などの事前のご相談から、ご葬儀、回忌法要まで、まとまったサポートをご用意しております。未来のことは分からないからこそ、いつか訪れるその日のために、今から備えを始めてみませんか。

今できる「最高の準備」を JAで始める資産相続相談

JAは、弁護士、税理士、司法書士や公証役場などの専門家と連携し、大切な資産を守るお手伝いをします。

生前の相続対策



相続税の生前対策

早めの準備が大切な資産を大きく守ります。シミュレーションで現状を把握します。

家族信託、任意後見制度

物事の判断が困難になる前に、元気な今だからこそできる万全の形です。

遺言信託、遺言書作成のサポート

県内JAで初!

円満な相続の実現に向けて、想いをしたためるお手伝いをします。

不動産活用サポート

売る?貸す?残す?悩まれていませんか?ご家族に負担を残さないための不動産整理をサポートします。

無料で手軽に学べる講座

相続セミナー

身近かつ、少し複雑な相続問題について、短時間で分かりやすく解説します。

2025年度は約200人が参加!



支店の待ち時間に落語で紹介

一部支店ではロビーの待ち時間に、落語で終活についての解説動画をご覧いただけます。



※西条支店

ご逝去後のサポート



遺産整理

事前にお伺いし、ご希望に沿って、預貯金や不動産の名義変更などを提携する専門家へ橋渡しします。相続手続きの全般をサポートします。

相続税の申告

相続に精通した税理士への橋渡しをします。
ご家族に寄り添う安心感をお届けします。

相談窓口 資産・相続相談課　TEL.082-422-0455

ご遺族・ご親族の様々なニーズに対応します

JA葬祭

各葬祭センターで、24時間365日サポートいたします。
受付から葬儀まで、担当者が真心を込めてご対応いたしますので、安心してお任せください。



葬儀の流れ

❶ 事前相談



漠然とした不安や、
経済的な疑問を解消します。

※地域により、ご葬儀の際に特典が付く会員制度もあります。

❷ ご逝去



- 最寄りのJA葬祭会館へ連絡
- 会館、ご自宅ご希望の場所へ移送
  （ドライアイス、枕飾りを準備いたします）
- 宗旨、菩提寺の確認、寺院への連絡
- 枕経

❸ ご葬儀打ち合わせ





- 日程、祭壇、飾り内容、引き物、料理の内容や数量を決める
- 役所の手続き代行
- 写真、死亡診断書、印鑑の用意
- 親戚、近所、会社への連絡

❹ ご納棺

- お棺に納める愛用品のご用意
- 湯灌、メイクアップ（有料）

❺ お通夜



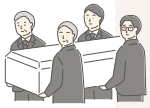
- 香典受付
- 弔問客のお見送り
- 通夜お食事（遺族控室に宿泊可能）

❻ ご葬儀



- 香典受付
- 親族代表挨拶
  （挨拶例文を準備いたします。）
- 最後のお別れ

❼ ご出棺



- タクシーやバスの手配
- 火葬、お骨上げ

❽ 遺骨の安置

- 遺骨安置用の祭壇のご用意
- 職場や近所への挨拶回り

❾ 初七日法要

- JAにて香典返し、法要、仏壇、墓石すべてお取り扱いしております。

❿ 忌明け（四十九日法要）

- 納骨

⓫ 初盆 一周忌法要 年忌法要



特徴

葬祭会館の見学

会館の利用が無い日は、式場や控室などの見学が可能です。事前にお電話でお問い合わせください。



管内の葬祭施設、よくあるご質問はホームページで ▶

事前相談、見積もり無料

葬儀に関する事前相談は、各葬祭センターにてお受けしております。お電話での相談とご来館、どちらでもかまいません。ご自宅にお伺いさせていただく事も可能です。



あらゆる宗派に対応

各葬祭センターにて仏式、神式、キリスト教式、無宗教式など、ご希望をお伺いいたします。



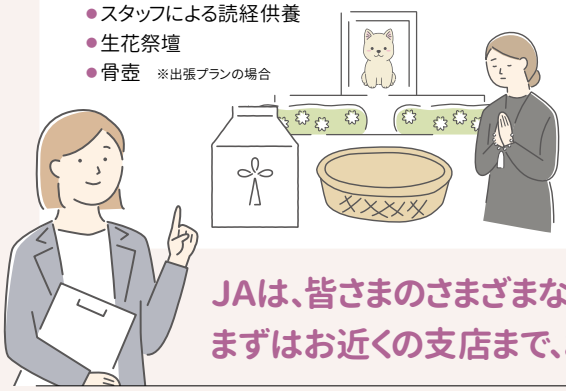
さまざまな規模の葬儀に対応

大人数での一般葬から、近年増加している家族葬まで、参加人数に応じた複数の式場を用意しております。

JAのペット葬

東広島市の逢の杜ペット霊園と提携し、犬や猫の他、小鳥やハムスターなど幅広い動物に対応しています。以下の2種類のプランからお選びいただけます。

- バスケット棺（布団・枕付き）
- スタッフによる読経供養
- 生花祭壇
- 骨壺 ※出張プランの場合



持ち込みプラン

霊園に直接ペットを預けていただきます。
合同火葬、立ち会い個別火葬など幅広く対応します。

出張プラン

自宅まで火葬車が出向きます。
葬儀からお骨上げ、法要まで行えるのが特徴です。



JAは、皆さまのさまざまなニーズに対応し、安心な暮らしを全力でサポートいたします。
まずはお近くの支店まで、お気軽にご相談ください。

相談窓口　葬祭課　TEL.082-422-9577

今月のひと

農業を支える人



廿日市市大野

吉岡（よしおか） 健太（けんた） さん

43歳

品目 水稲、野菜

機械化で堅実に規模拡大

農地請け負い多品目

廿日市市大野の吉岡健太さん（43）は、宅地化や高齢化が進む地域で、細分化した近隣の農地を請け負い、堅実に栽培規模を拡大しています。年間を通じて、ダイコンやニンジンなどの野菜20品目と水稲を生産します。

「実家の農地を守りたい」

専業農家の家庭で育った吉岡さん。県内の会社に就職しましたが、家業や地域の景観を守りたいという思いから、30歳で地元に戻り就農しました。初めは不安がありましたが、両親から学ぶ傍らJAひろしまの農業塾にも参加し、技術を習得。13年目の現在は、両親と兄、パート従業員2人で約1haを管理します。

長期的視野で生産基盤を整える

従来は全て手作業だった野菜の栽培。両親が長年試行錯誤しながら得たノウハウは受け継ぎつつ、将来少人数でも効率的に農業ができるよう、機械による軽労化を意識します。

2023年以降、思い切って農機を4種類購入しました。最も頼りにしているのは、タマネギの移植機。作業時間を約10分の1にまで短縮できました。「決して安くはなかったが、長い目で見れば導入して良かった」と振り返ります。

安全でおいしい野菜を作る

農産物は、学校給食やJA産直ふれあい市場「よりん菜」、農園の直売所などで販売します。



わたしのオフログ
OFF Log

日頃は、子どもたちとの時間が一番の癒しです。写真は、1月に家族で山口県の海響館に行ったときのもの。子どもたちはイルカのショーで大はしゃぎでした。楽しそうな様子を見ていると疲れが取れ、また農業を頑張っておいしい野菜を作りたいと思えます。


発芽したダイコンの生育を確認


籾殻の被覆から芽を出すニンジン


圃場を整える女性従業員

子どもたちや地域の方に安全でおいしい野菜を届けたいと、細やかな管理を心がけます。ぼかし肥料などを自作し、食味向上にも取り組みます。

現在は冬野菜の生産に勤しむ吉岡さん。「これからも季節ごとの野菜を丁寧に育てる」と話します。


タマネギの移植機

RECIPE おすすめレシピ



ダイコンと大葉の和風ツナサラダ

昆布茶の旨みと大葉の香りがたまらない♥
ダイコンを大量消費できる優秀レシピです☆

材料 4人分

- ダイコン……300ｇ(約1/3本)
- 大葉……10枚
- ツナ……1缶
- ★ 昆布茶……大さじ1
- ★ 砂糖……小さじ2
- ★ 醤油……大さじ1
- ゴマ……お好みで

作り方

❶ ダイコンを３㎜幅に切る。
❷ ❶を600Wの電子レンジで1分30秒加熱し、水気を取って冷ます。
❸ 大葉を千切りにする。
❹ ★とツナを和える。
❺ ダイコン、大葉と❹を混ぜる。
❻ お好みでゴマを振りかけて完成。

JA HIROSHIMA TOPICS

JAひろしまトピックス

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

JAひろしまはSDGs達成に向け
取り組みを進めています。

詐欺を防ぎ警察から感謝状を受けました！

ＪＡ萩原支店と同支店の大久保清宜係長は９月10日、海田警察署で詐欺被害を未然に防止したとして住田健二署長から感謝状を受け取りました。

８月上旬、大久保係長は、同支店のATMで「役場から還付金があると言われた」と操作する組合員の様子を不審に思い、詐欺を疑って警察署に通報しました。

大久保係長は「組合員の大切な財産を守ることができてよかった」と話し、秦千春支店長は「今後も警察と連携し声かけに努めていきたい」と力を込めました。



▲感謝状を手にする秦支店長（左から２人目）と大久保係長（同３人目）

高めよう、防災の意識と技術 第37回初期消火操法技術競技会

９月16日、消火技術の習得と防災意識の高揚を目的に、備北地区危険物安全協会が主催する第37回初期消火操法技術競技会が、三次市十日市町の三次消防署で開かれました。

大会には、備北地区消防組合管内の事業所から、10チーム20人が参加し、消火器を使った初期消火や適正な通報、危険物搬送などの消火操法技術を競い合いました。

ＪＡからは男子の部２チーム、女子の部１チームが参加。女子の部で三次地域が２位に入賞しました。参加したＪＡ三次中央支店の實川羽音さんは「いつ起こるか分からない災害のために、日頃から防災の意識を高めたい」と話しました。



▲競技に取り組む職員

特産「はつかいちご」定植順調

廿日市市の特産「はつかいちご」の定植が９月中旬に始まりました。ＪＡひろしまはつかいち苺部会の10戸が約90aで管理し、12月に初収穫を迎える予定です。

今年は猛暑の影響が心配されましたが苗の状態は良く、例年通りの品質を期待できます。年６回の栽培研修会の他、出荷前には目合わせ会を開き、高品質なイチゴの安定供給を目指します。

藤田速雄部会長は、18年前から同市平良地区で「はつかいちご」を育てています。９月25日に950株の定植を終えました。「昨年よりも高品質なイチゴを届けたい」と力を込めます。

12月下旬からＪＡ廿日市アグリセンターやＪＡ産直ふれあい市場「よりん菜」で販売する予定です。



◀はつかいちごの苗を植え付ける藤田部会長

ナス収穫から出荷まで　「農家さん」を体験　わんぱく農業体験

広島の子どもたちを応援する「わんぱく大作戦プロジェクト2026」は９月12日、東広島市黒瀬町の圃場でナスの収穫と出荷を体験しました。県内の小学生24人が参加。子どもたちに食農教育の機会を提供します。

同市でナスを生産する神信桂さんや米を生産する河名英樹さん、息子の真貴志さん、ＪＡ広島中央地域などが協力。神信さんから説明を受け、色艶や大きさを見極めながらナスを収穫、袋詰めして、POPを作成。とれたて元気市となりの農家店へ出荷して、陳列、売り込みまで体験しました。

神信さんは「子どもたちが喜んでくれて良かった。実際の圃場を見て、普段食べている野菜がどのように育っているのか学びになったと思う」と話しました。



▲ナスを袋詰めする参加者と作業を手伝う神信さん

田植えから稲刈りまで お米の成長を体験

呉市立三坂地小学校の５年生62人は９月18日、呉市広の髙村博さんの田んぼで「ヒノヒカリ」の稲刈りを体験しました。

同校は総合的な学習の時間を利用して農業体験を行っています。髙村さんとＪＡ呉地域営農販売課が協力。５月に自らの手で植え、黄金色に実った稲穂を前に、鎌の持ち方や刈取る位置、束ね方などの説明を受けた後、児童は３人一組となり１株ずつ刈取りました。

最初は慣れない手つきでしたが、作業を重ねるうちに手際よく進めることが出来ました。

体験を終えた児童は「最初は難しかった。慣れてきてから大きな株を刈取れてうれしかった。楽しかったのでまたやりたい」と笑顔で話しました。



▲稲刈りをする児童

農業を知る ＪAひろしま女子カレッジ第4回講座

９月17日、東広島市園芸センターで第４回ＪＡひろしま女子カレッジを開きました。受講生ら15人が参加し、同市の園芸品目と同ＪＡの夏秋ナスの取り組みについて学びました。

同センターが協力し、池田重和所長補佐が、センターの役割や同市の主な栽培品目、力を入れていることなどを説明しました。また、同ＪＡ営農支援課の橋本孟治係長が夏秋ナスについて豆知識を交えてナス栽培の特徴や振興理由などを講義。受講生へ地産地消を呼びかけました。講義後は圃場を見学し、ナスやブドウ、ミニトマトなどの新しい栽培技術や品種比較、実証栽培について学びました。

受講生は「複数の品種や栽培方法の違いを学べて興味深かった」と話しました。



▲実際の圃場で栽培技術を確認する受講生

県産レモン 初選果に向け品質確認

ＪＡせとだ柑橘事務所は９月24日、今季の出荷を前に極早生ミカンとレモンの目合せ会を開きました。ＪＡ職員やＪＡ広島果実連職員らが参加し、傷や病虫害などの外観品質を確認しました。

参加者らは、手にした果実を見比べながら、等級ごとの選別ポイントや、品質を保つための収穫時の注意点を真剣な表情で確認し、共通認識を図りました。

ＪＡ広島果実連の松浦道郎技師は「今年は夏の高温、少雨が２カ月続いたが、生産者のかん水作業とその後の管理で品質の良い果実に仕上がった。初選果に向けて品質を揃え、高品質な果実を消費者に届けたい」と熱く語りました。

初出荷は10月５日に行われ、広島県内や関東の市場を中心に全国に出荷します。



▲目合せ会で品質を確認

お米を通じてサンフレッチェ広島を応援！ 産地体験交流会を開催

ＪＡグループ広島は(株)フレスタと連携し、サンフレッチェ広島を応援しています。９月20日に練習拠点がある安芸高田市吉田町で開催された産地交流会には、抽選で選ばれた(株)フレスタ会員の親子と同社新入社員総勢53人が参加。春に同交流会で植えた「あきさかり」の稲刈りを行いました。

参加者はゲストのサンフレッチェ広島ＯＢ森﨑浩司さんと交流しながら、和気あいあいと稲刈りを楽しんだ後、炊き立てのご飯と豚汁に舌鼓を打ちました。

森﨑さんは「手作業の稲刈りは普段体験できない貴重なもの。お米作りの大変さ、大切さを知った上で、たくさんお米を食べて欲しい」と話しました。

同町産の「あきさかり」を使用した「サンフレッチェ応援米」は、売上の一部をクラブ強化資金として贈呈。お米の力でチームを後押ししています。



▲刈取った稲をバックに記念撮影

イチオシ！トピックス

ＪＡは、「持続可能な農業の実現」「豊かで暮らしやすい地域社会の実現」「ＪＡ組織の基盤強化」に向けて、取り組みを進めています。このコーナーでは、ＪＡが実践している事業や取り組みから「イチオシ！」を紹介します。

ひろしま米を味わおう！ ごはんレシピ総選挙

ＪＡ女性部は、26年産新米に合わせ、初企画「ごはんレシピ総選挙」を開催中です。管内９地区本部から、地域の特色や魅力、部員の愛情が詰まったレシピが集結。11月１日から30日まで、お１人様１日１回スマートフォンで簡単に投票でき、抽選で景品が当たります。

総選挙は、ＪＡ全農ひろしまの「ひろしま米はひろしま愛プロジェクト」の一環。推しレシピへの投票でグランプリを決めます。郷土愛やアイデアの光るレシピで、ひろしま米の魅力を再確認し、消費拡大につなげます。

レシピは、おむすびや丼など、手軽に作れて満足感のあるものを揃えました。「佐伯長ナス」、「㊙馬鈴薯」、アスパラガスなど、各地域の特産品も使用。次世代に伝えたい郷土料理から、米を使ったドーナツなどの斬新なレシピまで、よりどりみどりです。

沖野由香部長は「今までの女性部の活動が生き、地域色豊かなレシピが揃った。たくさんの人に活用していただき、県産米をおいしく食べてもらいたい」と期待を込めます。



ごはんレシピ総選挙をＰＲする沖野部長

スマートフォンでカンタン投票

❶ＱＲコードを読み取る
❷推しレシピを選ぶ
❸投票ボタンを押す

お一人様１日１回投票できます

※通信料は利用者のご負担となります。

投票いただいた方の中から抽選で景品をプレゼント！

理事会報告

令和８年度 第７回　　開催日時：９月29日13:00から

議　案

第１号議案　第１四半期監事監査回答書について　【承認】
第２号議案　株式会社呉コープ臨時株主総会の招集及び議案承認について　【承認】
第３号議案　令和８年度「取引のリスク評価書等」の定例改正について　【承認】
第４号議案　ＡＴＭの設置（増設）について　【承認】
第５号議案　大口融資について　【承認】

報告事項

1　総代選挙にかかる報告について
2　内部統制システムの運用状況について
3　個人情報漏えい事故の発生について
4　継続的な利益相反取引に関する報告について
5　理事会の決議事項の処理状況について（大口融資）
6　組合員の加入及び脱退の状況報告について
7　事業実績報告について
8　その他

組合員資格の変更等について

相続の発生や組合員資格・住所等に変更があった場合は、最寄りの支店へ届出をお願いいたします。

役員コラム



心豊かな未来を皆さまと共に

代表理事組合長
田中　義彦

ＪＡ組織は、農家組合員が共同で生産、販売、資産管理、生活品質を向上する目的で立ち上げられました。組合員にとっては自分達の所得向上、安全で安心に暮らせるために重要な価値があったと思います。

昨今は、組合員の世代が代わり、世の中の生活スタイルが変化し、価値観が多様化してきました。だからこそ、今後はより柔軟に一人ひとりの夢や課題に寄り添い、共に解決を目指す心強いパートナーとして進化を遂げたいと考えております。

ＪＡひろしまは、合併して4年目を迎えております。ＪＡを利用することでさまざまな可能性が広がり、安心して心豊かな毎日を送れる。そんな未来を皆さまと共に創り上げることが、私たちの使命です。これからも役職員一丸となり、皆さまの笑顔のためにまい進いたします。

COLUMN

Let's learn!

ここまると一緒に学ぼう JAのこと

vol.8

JAにはどんな事業があるの？



©ここまる

JAのいろんな事業はどんなことをしているんだろう？今月は、共済事業について見てみよう！

「相互扶助」のJA共済

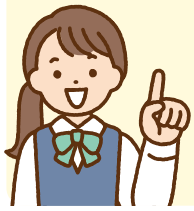
JA共済は、人々が助け合い、支えあって生きてゆける社会の実現という「相互扶助」の理念のもと、農協の共済事業として1948年に始まりました。組合員・利用者の不測の事態に対して経済的な損失の補填と生活の安定を図るため、各種共済による総合保障を展開しています。

各種保障・サービスの提供

JA共済では、一人ひとりのライフプランに応じて充実した保障を提供します。万一の時や病気、ケガ、老後などに備える「ひと」の保障。火災はもちろん、地震や台風などさまざまな自然災害に備える「いえ」の保障。そして自動車事故による賠償やケガ、修理に備える「くるま」の保障。また、農業者の「生産」から「出荷・販売後」までのさまざまな賠償リスクなど、総合保障でサポートしています。

農業と地域社会の活性化へ

保障・サービスの提供に加え、住み慣れた地域で、豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりのために、健康管理や防災、交通事故対策、子育て支援、農業振興など、さまざまな地域貢献活動に力を入れています。



Oh! 農! Our High School

広島県立庄原実業高等学校

日本学校農業クラブ連盟に加入する、西条農業高校、吉田高校、庄原実業高校では、将来プロフェッショナルとして活躍する人材育成を目指し、特色ある高校として専門教育に力を入れています。農業に関わる幅広い産業に対する知識や技術の習得に努めている高校の特色ある取り組みについて紹介します。

小豆かすから幻のキノコ栽培 循環型農業で地域貢献目指す

県立庄原実業高校食品工学科2年生3人は、地域未利用資源を活用した循環型栽培で中山間地域の活性化へ貢献します。小豆かすで菌床を作製し、希少で「幻のキノコ」と呼ばれるタモギタケを栽培。廃菌床は新たな資源としての再利用に挑戦しています。

2026年4月から研究する浅井幸葉さんと中岡義豊さん、坂直輝さんは、産業廃棄物として処理される小豆かすに着目しました。研究には県立広島大学が協力。コーンコブと混ぜて培地を作製し、配合を変えて比較します。ビニールテントで温度は25℃、湿度は80～90％を保つよう機械で管理します。

タモギタケには、天然の希少アミノ酸エルゴチオネインが豊富に含まれ、認知機能改善や抗酸化作用、美肌効果などがあるとされる注目の成分です。同校が所在する庄原市は高齢化が進む地域。同成分が地域貢献につながると考えました。

栽培実験では、小豆かすが持つ栄養価で、菌糸の成長速度に違いがみられました。小豆かすを多く入れた培地は菌糸が回るのが約1・5倍早く、キノコの収穫量も多い傾向がみられました。また、通常なら1、2回程度の収穫で生育が止まるところ、3回目まで収穫できました。収穫したタモギタケは粉末状にし、同大学の設備等を利用し成分含有量や品質を調べます。

今後は、収穫したタモギタケの食用利用や廃菌床の活用を研究し、循環型農業モデルの確立を目指しています。

浅井さんは「この取り組みを皆さんに利用してもらい、中山間地域の活性化につなげていきたい」と意気込みます。



ＪＡ女性部　庄原地区本部　フレッシュミズ部会

部員数 35名



互いの特技を尊重し、学び合う



フレッシュミズ部会の皆さん

私たちフレッシュミズ部会は、部員の得意分野を尊重し、個性的なアイデアを出し合って活動の幅を広げています。

中国出身の部員が伝授する水餃子作りは、「皮がもちもちして、さすが本場の味」と絶賛の嵐でした。また、今年はあんこや柏の葉を持ち寄り、柏餅作りにも初挑戦。ベテランの部員が先生として活躍しました。アロマオイルを使ったハンドクリーム作りや、毎月の健康体操教室で、美容と健康にも気を配ります。



水餃子作り



柏餅作り

つなげよう私たちの輪

私たち安芸津支部は、手芸教室でかわいらしい小物を作り、楽しく交流しています。工夫を凝らし、ちりめん根付のキーホルダーや干支のタペストリーなど、装飾品を仕上げます。今年の夏は特に暑かったため、各自が家で製作を進め、持ち寄って鑑賞しました。



装飾品作り



完成した手芸作品

時にはみんなで農作業の話もしながら、和気あいあいと活動しています。

12月5、6日にＪＡふれあい市安芸津店の「芸南ふれあいまつり」で、出来上がった作品を展示します。ぜひご覧ください。

部員数 20名

ＪＡ女性部　芸南地区本部　安芸津支部

手芸教室で広がる交流





安芸津支部の皆さん

こよみめぐり

季節の便り

二十四節気は、日本で古くから、暮らしや農業の目安として親しまれてきました。各節気とともに、食と農を身近に楽しんでみませんか。

立冬（11月7日～11月22日）

「冬の気立ち初めて、いよいよ冷ゆればなり」。いよいよ暦の上では冬。だんだんと冬の兆しが見え始めます。

農作業

寒さが増してくる「立冬」は、土づくりに最適な時期です。寒さによる体のこわばりや体調不良に注意しながら作業しましょう。

食卓に季節の彩りを

レンコンやショウガなど体を温める食材や、ダイコンやハクサイなど寒い時期にぴったりの食材を楽しみましょう。



小雪（11月22日～12月7日）

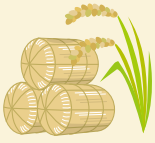
「冷ゆるが故に、雨も雪となりてくだるが故なり」とあり、地域によっては初雪が降り始めてくる時期です。

農作業

冷たく乾燥した強い北風が吹く日が増えてくるため、火事や体調不良に注意が必要です。また、稲の収穫を祝い翌年の豊穣を祈願する新嘗祭が宮中で開かれます。

食卓に季節の彩りを

新嘗祭を迎え、市場に新米が並ぶ時期です。また、ホウレンソウやシュンギクなどの葉物野菜や牡蠣がおいしい時期です。



農note

TEAM Farmer



安芸地域
ＪＡひろしまマックスバリュ海田店出荷者組合 組合長
熊野（くまの） 俊夫（としお） さん（76）

Farmer's WORD ＞ 高品質な農産物と管理の徹底で、喜んでもらえる売り場づくりを

組合概要

設立年	2019年
組合員数	23人
平均年齢	67歳

組合について教えてください

安芸郡海田町にある「マックスバリュ海田店」の地域野菜コーナーへ毎朝、安芸地域の新鮮な野菜、切り花などを出荷しています。

マックスバリュの担当者やＪＡの協力も必要不可欠です。年に１回の総会以外にも地区ごとに定期的に栽培講習会などを開き、技術を磨きます。また、更なる組合の活性化を目指し、ＪＡ広報誌や新聞で参画を募っています。

今年の売上高目標1,800万円を目指して組合員一丸となり切磋琢磨しながら生産しています。

一番こだわっている点は？

ルールを決め、常に新鮮で品質のよい農産物を陳列できるよう心がけています。そのために品目ごとに出荷規格を決め、組合員全員で遵守します。また、毎朝売り場へ行き、出荷品に問題はないか、きれいに陳列されているかなど店の担当者と連携をとりながら確認を怠りません。

来店した皆さまに喜んで手に取っていただけるような売り場づくりに努めています。



ある1日のスケジュールを DAILY SCHEDULE のぞき見

5:00	起床
7:00	マックスバリュへ出荷・確認作業
9:00～13:00	農作業
	休憩
15:00～17:00	農作業
21:00～22:00	出荷準備
23:00	就寝

11月のおすすめはキャベツ、ブロッコリー、ハクサイ、ダイコンなどの秋冬野菜やストック、キンギョソウ、スターチスなどの切り花です。ぜひ皆さまお越しください。



マックスバリュ海田店2階のエスカレーター横で販売しています。

ごちそうグルメで食卓を華やかに

JAでは各種グルメ商品を取り扱っております。
以下のQRコードよりカタログをご覧いただけます。



年末年始にだんらんパック、おせちはいかがですか

おせち



おせち料理の
カタログはこちら

だんらんパック



だんらんパックの
カタログはこちら

●一部取扱いがない商品もございます。ご注文方法など詳しくは各地域営農経済センターへお問い合わせください。

暮らしのヒント

屋外焼却からの火災が増えています！

広島県消防長会

冬から春先にかけては空気が乾燥し、強風の日も多いため、全国で林野火災が発生しやすくなります。林野火災の多くは、「たき火」や「火入れ」など人為的な原因によるものであり、火を扱う際には十分な注意が必要です。特に、消火器具を準備すること、火から目を離さないことなど、基本的な火災予防を徹底しましょう。

また、屋外での廃棄物の焼却（いわゆるゴミ焼き）は原則として禁止されています。「やむを得ない行為」として、農業に伴う草木の焼却、とんど焼きなどの伝統行事等は認められる場合がありますが、地域、周囲の状況等により例外とは認められないことがありますので注意が必要です。

■林野火災注意報等の発令

消防機関では、乾燥した日が続くなど林野火災の危険性が高まった場合に「林野火災注意報」を発令し、さらに強風注意報が発令された場合には「林野火災警報」を発令することがあります。警報発令中は、火災予防条例に基づき火の使用が制限され、違反した場合には罰則が適用されることがあります。なお、注意報や警報の運用は消防本部ごとに異なるため、詳細は地域を管轄する消防署に確認してください。

■消防署への届出をしましょう！

農業等に伴う草焼きやたき火など、例外的に認められている屋外焼却を行う場合でも、「火災と紛らわしい煙又は火災を発生するおそれのある行為」として消防署への届出が必要です。この届出は、消防機関が事前に焼却行為を把握し、火災との誤認による出動を防ぐためのものであり、焼却行為自体を許可するものではありません。林野火災防止のため、一人ひとりが火の取扱いに責任を持ち、火災を発生させないように心がけましょう。

各消防本部への
問い合わせ先は、
こちらから確認して
ください。



広島県消防保安課のサイト
（県内消防本部へのリンク）

健康ひろば

2026年は麻疹（はしか）に要注意！

ＪＡ広島総合病院
感染防止対策室
看護師長　今本　紀生

春先から初夏にかけて耳にすることが多い「麻疹（はしか）」ですが、実は2026年度は例年に比べて全国的に報告数が多いため、いつも以上に注意が必要です。

麻疹の驚くべき感染力

麻疹の最大の特徴は、その強い感染力です。空気感染をするため、手洗いやマスクだけでは完全に防ぐことが難しいと言われています。

免疫（抗体）を持っていない人が感染すると、インフルエンザに比べて約10倍もの感染力を発揮します。また、もし感染すれば、高熱や全身の発疹だけでなく、まれに重い合併症を引き起こすこともある病気です。

世代によって異なるワクチンの接種歴　あなたは2回接種できていますか？

麻疹を防ぐ最も確実な方法は「ワクチン接種」で、現在の日本の制度では原則として2回の接種が義務づけられています。

しかし、過去の予防接種制度の変更により、特に1972年（昭和47年）から1990年（平成2年）生まれの世代は、定期接種の機会が「1回」しかなかったり、接種する機会自体が少なかったりした背景があります。そのため、この年代を中心にワクチンを2回接種できていない（または免疫が十分でない）人が多いのが現状です。

自分や家族、周りの人達を守るために

ご自身やご家族が十分な免疫を持っているか確認するために、まずは母子手帳を開いて、これまでの予防接種歴（何回接種したか）を確認してみましょう。もし、ワクチンを2回接種できていないことが分かった場合や、接種歴が不明な場合は、かかりつけ医などの医療機関へ相談し、ワクチンの追加接種を検討することをお勧めします。



ＪＡ尾道総合病院
尾道市平原一丁目10-23
TEL.0848-22-8111

ＪＡ吉田総合病院
安芸高田市吉田町吉田3666
TEL.0826-42-0636

ＪＡ広島総合病院
廿日市市地御前一丁目3-3
TEL.0829-36-3111

各病院の外来診療予定は二次元コードよりご確認いただけます。



9月号の応募いただきましたお便りの総数は229件でした。
たくさんのお便りありがとうございました。

◇この時期ＪＡの産直市に行くと私の大好きな秋の味覚「ブドウ」が並び、沢山の品種を食べ比べ出来る幸せな日々を過ごさせて貰えます♪どれもとっても美味しい！特にシャインマスカットは20年前に東広島市安芸津町の果樹試験場で作られた品種！今やっと時代がシャインマスカットに追いついたのかと！いやぁ～広島県の誇りです！
（東広島市　ズッコラさん）

●ここでおいしいブドウの選び方をご紹介♪軸が緑色で太く、粒の表面の白い粉（ブルーム）があるものが新鮮です🍇

◇のぞみが丘敬老会の招待状で今年も早目の9月12日とあった。久しぶりの化粧に、とまどった!!会場には久方ぶりの人達で話、笑顔と輪が広がっている。プログラムの中のひとつ、会員の「みらさかそあ～べ」の合唱があり、それぞれ手ぶり、足ぶみ、ハミングと楽しい空気感が漂った。これも実行委員、関わりをいただいた方々の賜物ではと感謝。久しぶり　年はとっても　口達者
（三次市　茶花のツクバネさん）

●お元気で　話に花を　咲かせましょう🌸

◇先日、近くのスーパーの選べる家電に当選し、その中に前から欲しくて手が届かなかったオーブントースターがあったので、夫と大喜び。数日後、届いたのは、なんと大きなダンボール。届いたのはオーブンレンジでした。値段は倍以上だけど…オーブントースターがほしかった。
（大竹市　M・Hさん）

●期待で温まった気持ちが、少し冷めてしまったでしょうか。これからはこのオーブンレンジが食卓を温めてくれますように🤗

◇ムカゴが取れる季節になりました。ムカゴご飯で楽しみます。他の調理法はあるかな？
（東広島市　T・Oさん）

●少しレシピをご紹介します👨‍🍳【ムカゴのバター醤油】フライパンでムカゴを炒め、バター＋醤油＋黒コショウで完成。【ムカゴの味噌炒め】ムカゴを油で炒めて、味噌＋みりん＋砂糖を少量ずつ加えて絡めて完成。

◇小学４年生の孫は、今年バケツ苗で稲作に初挑戦！元気がなくなってきた苗を心配し、近くの農家へ相談に行ったそうです。親身になって見てくださり、土から新しくしてもらったおかげで、無事に穂が出たと報告してくれました。収穫が楽しみですね！
（庄原市　S・Nさん）

●農家さんの経験や知恵を直接教えてもらった素敵な挑戦でしたね🌾

◇２月に掛けた巣箱にシジュウカラが巣を作りました。４月に一度巣立った後、５月に二番子が巣立ちました。同じ春に２回も巣作りをしてくれて大感激です。涼しくなって来たので一度巣箱を下ろし、来春に向け掃除をしたいと思います。また巣作りをしてくれるかな？楽しみです。
（三次市　Y・Tさん）

●来春も始終訪れてくれる人気の巣箱になりますように★

◇日曜日の夕方、主人の発熱が分かりました。休日診療の病院に行き検査の結果、「インフルＡＢとコロナのトリプル陽性」と言われました。診察してくださった医師が「実は私、トリプル陽性の方を診るのは、初めてなんですよ。」と嬉しそうに話してくださいました。
（東広島市　C・Oさん）

●まさかの三刀流😰先生も驚く珍しいケースだったんですね🙀しっかり休んで元気になってくださいね🤸

◇９月16日に誕生日を迎え90歳になりました。まだまだ元気なうちに大好きなカラオケをしたいと思っています。ただ歌詞が覚えられないのでいい方法があれば助かります。
（廿日市市　M・Kさん）

●歌詞を暗記するのではなく、歌詞を思い出と結びつけ、思い出をたどりながら歌うのはいかがでしょう💡でも大好きな歌は、覚えるより楽しむのが一番👍これからも大好きな歌を思いっきり楽しんでくださいね🎤

◇シャトレーゼの花火大会行ってきました。みんな帰りの渋滞を気にして打ち上げ開始と同時に帰りの列ができてるのが面白かった。何目的できたのよ！
（呉市　ペンネーム　まぁその列に並びながら思ったけど　さん）

●まさに終わりの始まりですね🚗🚗🚗🎆

◇私は思うのです。農家の方々が汗、水たらして、一生懸命、大事な人間の命を守るお米を作って下さっておるのに米価が上がらず、作れば作る程、赤字となり苦しい生活をされています。どうか、農業だけで生活の出来る日本になる様に、ＪＡ、政府、県市町が一体となり、ぜひ実現して下さい。苦労がむくわれる世界にして下さい。おねがいします。
（東広島市　K・Iさん）

●農家の皆さんは色々なご苦労をされていると思います。ＪＡでは今後も関係行政と連携し、「持続可能な農業の実現」を目指してまいります。

あつまれ！みんなのページ



安芸高田市　イーチャンさん



東広島市　造賀のおばあちゃん

白い彼岸花の花言葉は
「また会う日を楽しみに」
だそうです。
竹原市　あつこさん





この可愛さで、
気も強いんです。
ちゃんちゃんこ着用中。
三原市　ぽんちゃん

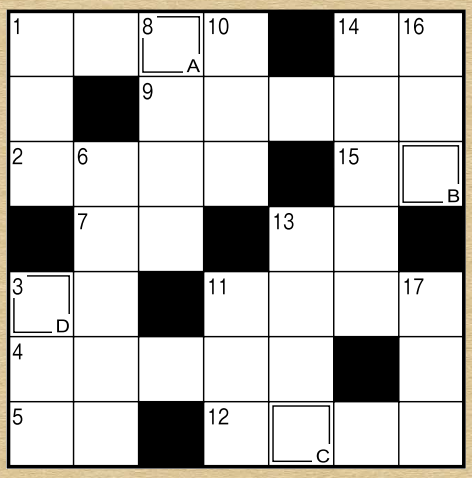


子ども達の成長を楽しみにしているじいです。
東広島市　Y・Mさん

クロスワードパズル

（出題／ニコリ）

二重マスの文字を
A～Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



解答メモ　A　B　C　D

※答えは12月号に掲載します。

ヨコのカギ

1. 旧暦11月の異称
2. 他のグループの客は入りません
3. 俳句に入れて、季節を表現
4. もう9時?!　寝過ごした!
5. アウトの反対語
7. 積もれば山となります
9. 博多名物の辛子――
11. ここの紅葉の名所は、東福寺や南禅寺などが有名
12. 赤ちゃんが誕生時にあげる声
13. 割り算。加減乗――
14. ネコが前足で洗う場所
15. アイロンでのばします

タテのカギ

1. 仏教の開祖です
3. 「エイッ!」「ヤァッ!」と声を出して入れることも
6. 千歳飴がつきものです
8. 指先でパチンパチンと切る道具
10. 固定――の住宅ローンを借りた
11. メーカー――小売価格は9800円です
13. とってもタフです
14. ストレス――にカラオケへ行った
16. 漢字で書くと「御強」。もち米で作ります
17. 人の長所や美点のこと

応募方法

はがきまたはインターネットより、パズルの答え、住所、氏名（ペンネームも可）、年齢、電話番号と写真やイラスト、広報誌の感想、JAへのご意見、身近で起きた出来事などを添えてご応募ください。

〒739-0015　東広島市西条栄町10-35
JAひろしま　総務部ふれあい広報課「クロスワードパズル」係

https://jahiroshima.or.jp/contactinfo/info4/
JAひろしまホームページのお問い合わせページよりご応募ください。

インターネットからのご応募はこちらから

※投稿に際して取得した個人情報は承諾なく第三者に提供しません。
※投稿は紙面の都合上、すべて掲載できません。ご了承ください。
※プレゼントの当選者発表は発送をもってかえさせていただきます。

応募締切

11月25日（水）
※当日消印有効

●いただいたお便りは1月号に掲載します

今月のプレゼント



正解者の中から
抽選で20名様に
山野さんの手作りジャム（1個）
をプレゼント!!

ジャムの種類は届いてからのお楽しみに



©ここまる

10月号の答え

ハイキング

1カ	6キC	■	11ヒ	14ツ	18コ	22シ
2ラ	ク	8ダ	■	15マ	ス	イB
シ	■	9イ	12シ	■	19モ	ン
■	7キ	ヤ	ンD	16バ	ス	■
3サ	バ	■	13カ	ナ	■	23ロ
4ハA	セ	10イ	■	17ナ	20フ	ダ
5ラ	ン	カ	ン	■	21グE	ン

みんなのフォトギャラリー

農業のために 地域のために 明日のために JA共済の地域貢献活動

©2017 JA-KYOSAI

「食」と「農」に関する お子さまの笑顔の写真を募集中！

※表紙に掲載させていただく場合がございます。

応募方法

JAひろしまInstagram

❶ＪＡひろしまのInstagram
jahiroshima_official をフォロー
❷DMで写真とタイトルを送付!

採用された方には
素敵なここまる
ランチボックスを
プレゼント!



ひろしま農業協同組合	休日・夜間に自動車事故が発生した場合	キャッシュカード・通帳の紛失・盗難の場合	相談、苦情等の窓口
本店（ナビダイヤル） 0570-078-800	ＪＡ共済事故受け付けセンター 0120-258-931	ＪＡバンク広島ATMお客様センター 0120-577-931	本店リスク管理部 TEL.082-422-6168

編集後記

今月は、ＪＡの資産相続、葬祭事業について特集しました 家族が亡くなると、不安な中でも短期間でやるべきことが沢山あり、混乱してしまいますよね ぜひＪＡのサービスをご利用いただき、すみやかな手続きにお役立てください （おかだ）

Pickup

ここまる 産直 さんぽ



JAひろしま公式キャラクターの「ここまる」が管内の産直市をおさんぽ♪
JA職員と一緒に、おすすめの加工品や産直市の魅力をご紹介します。



JA交流ひろば とれたて元気市 となりの農家店へ！



●培煎荒割　※水1Lに対して20ｇが目安です。
約４～５分煮出してください。香ばしいはとむぎ茶が味わえます。荒割の粉末タイプ500ｇ入りと10ｇのお手軽なティーパックタイプ1kg入りと500ｇ入りがあります。

●培煎粒
約15～20分煮出し、火を止めてしばらく置きます。じっくり時間をかけて抽出してください。すっきり、まろやかで飲みやすい味になります。

「JA交流ひろばとれたて元気市となりの農家店」の11月のオススメは、「**大和町特産はとむぎ**」です。三原市大和町で約半世紀前から栽培されています。さまざまな形状で販売しているので、お好みや用途によってお選びいただけます。これからの季節はしっかり煮出した香ばしいお茶をホットでお楽しみください。



ノンカフェインですので、秋の夜長にご家族でぜひどうぞ。

迫川優大さん



Check

KOKOMARU SANPO

JA交流ひろば とれたて元気市 となりの農家店

所在地	東広島市西条町寺家7957-1
TEL	082-437-5831
営業時間	9:00～18:00
定休日	盆・年末年始休業の場合あり

JAひろしまとJA全農ひろしまが共同運営しています。新鮮な野菜や果物、花き、肉、魚に加え、広島県産の材料を使用した加工品やJA全農ひろしまのブランド「３－R」の商品など品揃えが充実。土日祝は一日あたり1,600人以上の利用者で賑わいます。特に果物コーナーは多くの旬の品種が並びます。

Map



もっと! JAひろしま

編集／ＪＡひろしま　総務部ふれあい広報課
発行／ＪＡひろしま
〒739-0015　広島県東広島市西条栄町10-35
TEL.082-424-1798

ホームページ　Instagram

VEGETABLE OIL INK
「地産地消」と「環境」に配慮したベジタブルインキを使っています。